

中国電力株式会社 審査資料	
資料番号	CL-E-003
提出年月日	令和2年6月8日

相対標準不確かさ（トレイ走査速度の例）の評価について

別紙 2

令和2年6月
中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

Energia

放射能濃度確認対象物を載せた測定トレイは、速度により検出器を通過する時間が異なる。通過する時間が異なると計数率が異なる。トレイ走査速度は、測定トレイが検出器を通過する速度により計数率が異なることに起因する不確かさの要因である。

1. 評価区分, 値, 確率分布, 除数の評価

2. 標準不確かさ，相対標準不確かさ

表－2 標準不確かさ，単位換算，相対標準不確かさの考え方

--

トレイ型専用測定装置により、模擬対象物の30秒間の移動距離からトレイ速度を求め、検出器の通過時間とトレイ速度の傾きを評価した。

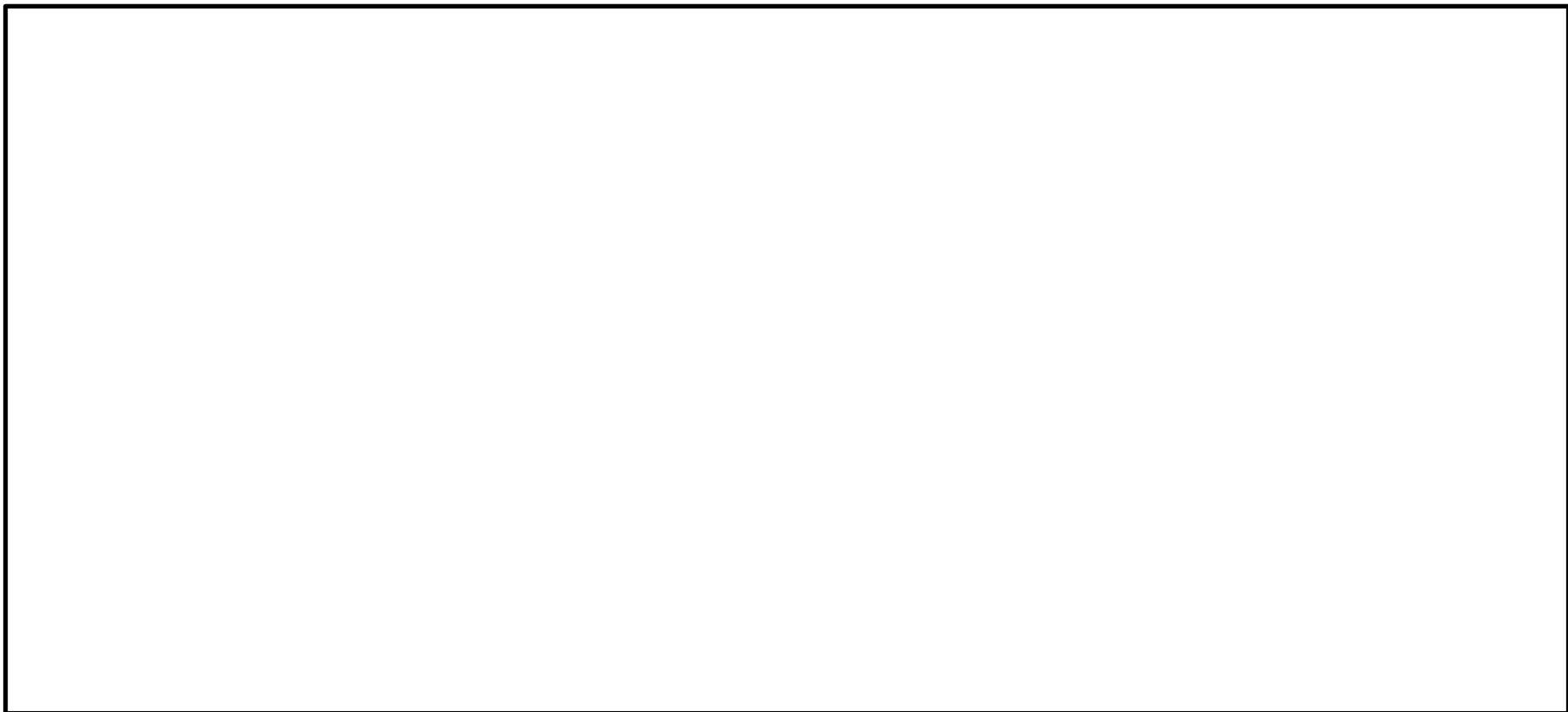


図-1 トレイ速度と通過時間の関係

